

平成 22 年度

原町成年寮地域生活援助センター  
共同生活援助・共同生活介護事業所  
「かつしかセンター」

事業計画

1. 基本理念

- ① 就労と社会生活能力の向上のための支援
- ② 豊かな人生を送ることの支援
- ③ 地域社会への貢献

2. 今年度重点目標

- ① 利用者の安全で健康な暮らしを居住の基本として見直す。
- ② 利用者の特性にあわせた援助の方向性を定め、チーム支援を強化する。

3. チーム編成と各ユニット担当

大枠として中軽度障害者の支援を担う第1グループと重度障害者の支援を中心とした重度グループに分ける。

【第1グループ】

副所長

◇第一生活寮チーム

◇公園前チーム

◇更紗チーム

【重度グループ】

副所長

◇ゆるりチーム

所長

◇あさもえチーム

【バックアップ】

寮 ホームラン

トマト

4. 担当

- ① 会議 全体会議  
サビ管会議  
チーム会議

- ② 各担当

- ・健康診断
- ・土田病院
- ・目黒 CL/年金
- ・カウンセリング
- ・英会話
- ・フットサル
- ・ランナーズ
- ・ソフトボール
- ・バスケット

③ かつしかセンター防災委員会

④ 事務関係

- ・家賃助成
- ・AIU
- ・利用者台帳

5. 事業課題と計画

(ア) 防災委員会

安全な暮らしを重要課題とし「かつしかセンター防災委員会」を発足させ、積極的に防災活動に取り組む。

(イ) 健康管理

利用者の高齢化にあわせ、健康診断のあり方の見直し等、利用者の健康管理をより重視する。その中で看護師有資格者の支援員雇用を考えていく。

(ウ) 事務所移転

平成 22 年 6 月に「かつしかセンター」としての事務所を東立石 4 丁目（「更紗」隣）に独立して設置する。（2 階建て 1 階部分、2 階はグループホーム）

(エ) 平成 23 年 2 月をめどに重度自閉症ケアホームを立ち上げる。

(オ) 通勤寮支援のユニットとの連携を通して今後の通勤寮とグループホームとのあり方を検討する。

(カ) 利用者の家賃、光熱水費・通信費の徴収に口座自動振り替えサービスを導入する。

(キ) 事業所再構築

肥大化した事業所の組織再編を視野に入れる。この事業展開は次の法人プロジェクトに依るものであるが、まず今年度は重度障害者と中軽度障害者の支援を分ける方向でチームの再編成を段階的に実施する。それによってそれぞれのチームの利用者特性にあわせた援助技術の向上を図る。

そのうえで、重度自閉症、軽度一般就労等をさらに特化していく方向性を探り、事業所の組織再編成を考えていきたい。

## 6. 事業展開

事業展開は法人プロジェクトに依り進めていくものであるが、ここ数年のグループホームの増加による「かつしかセンター」の拡大により、利用者の質的な変化（重度化、障害の多様化、高齢化）と支援の量的な負担が生じた。質的な変化に組織のシステムと援助技術が追いつかず、支援の必要量に人的配置が追いつかないという事態は、そのまま利用者の安全で安心した社会生活を脅かす結果を招いてしまう。

従って今年度のユニットの増加は通勤寮からの受入にとどめ最小限に抑え、チーム支援の基盤を強化し組織力を高めて、安全で安心できる地域生活という基本に立ち返った利用者支援を目指したい。